

Health&Food

TPC Communication Magazine

Feb. 2022

Vol. 32

News1

今月の気になる業界ニュース

アピ、「個別化型API's CF」を活用し、製品開発サービスを強化。ニーズの多様性に対応 他

News6

今月の注目商品

サントリー 快眠セサミン (サントリーウエルネス)

News2

今月の気になる新製品

ニチレイ、米由来の新しい主食「ごはんのみらい」を発売 他

News7

今月の作ってみました

フジッコのおまめさんシリーズ (フジッコ)

News3

今月の気になるプロモーション

JR大宮支社、プロテイン飲料の自動販売機を期間限定で設置 他

News8

今月の「まとめてみました」

機能性表示食品の惣菜・生鮮食品

News4

今月の気になるヒット商品

包み (六甲バター)

News9

新刊レポートのご案内

News5

今月の気になるデータ

22.9%

News10

今後の発刊予定

TPCマーケティングリサーチ株式会社

ADD 大阪市西区新町2-4-2

TEL 06-6538-5358

HP <http://www.tpc-osaka.com/>

フジッコ、機能性表示食品の届出受理 「黒大豆ポリフェノール」で疲労感軽減

フジッコの「黒大豆ポリフェノール」を機能性関与成分とした「疲労感を軽減」に関する機能性表示食品の届け出が、2021年12月に消費者庁に受理されました。同社では今後、新たな機能性表示食品の開発や、機能性食品原料として惣菜販売を進めていくとしています。

同社は、黒大豆の種皮から抽出した黒大豆ポリフェノール「クロノケア」を開発し、さまざまな機能性研究を行ってききましたが、最近の研究では「クロノケア」を摂取することで、疲労を改善できることを確認。メカニズムとしては、抗酸化作用によって体内の酸化ストレスを低減し、自律神経機能を調節することで、一過性の疲労感や眼の疲労感、疲労に伴う眠気や認知機能の一部の低下を軽減することを示しています。

ポッカサッポロフード&ビバレッジ、 自社栽培レモンの初収穫に成功

ポッカサッポロフード&ビバレッジは、国産レモンの生産振興を目的に、2019年4月から広島県大崎上島町でレモン栽培を行っており、栽培開始から約2年を経て、2021年12月に自社栽培レモンの初収穫に成功しました。

同事業は、同社とJA、地域の生産者が連携する「レモン生産振興」と、レモンの機能性研究やレモン食文化発信に取り組む「レモン価値創造」など、同町との地域共創の取り組みでもあります。

同社は、「レモンの製品開発や機能研究とともに、原料産地も強化していく。」としており、この取り組みを継続していくことで、真の『レモンカンパニー』を目指すとしています。

アピ、「個別化型API's CF」を活用し、 製品開発サービスを強化。ニーズの多様性に対応

サプリメント・健康食品受託製造で国内最大手のアピは、独自の製品開発サービス「API's CF」を活用し、顧客となるサプリメント・健康食品メーカーのコンセプトに合わせた製品開発（新商品の開発、既存商品のリニューアル）をフルパッケージで提供するサービスを開始しました。

「API's CF」は、「健康に関する悩みやコンセプト別に、学術論文などのエビデンスをベースに作用機序を分かりやすく見える化・体系化し、各作用点に対応する素材・成分を顧客の要望に合わせて選定し、『最適な処方・製品設計』を顧客とともに創り上げて、独自性の高い製品開発を実現する為のサービス」であり、現時点でベースのないニッチな機能性領域にもフルオーダーメイドで対応可能としています。

明治、経口栄養補助食の継続摂取が 高齢者の低栄養の改善に有効であると確認

明治は、高齢者が陥りやすい低栄養の改善に、経口栄養補助食の活用が有効であることを示したと発表しました。

同社は、鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院との共同研究において、低栄養リスクがある65歳以上の高齢者に対して、経口栄養補助食を継続摂取する群（介入群）と摂取しない群に分け、体組成、各種栄養指標、握力などを測定。その結果、体重・BMIの変化量が、対象群に比べ介入群で有意に高値を示しました。また75歳以上の高齢者で層別解析を実施したところ、体重、BMI、筋肉量・骨格筋量の変化量が有意に高値を示したということです。

味の素、ベンチャー企業の(株)おいしい健康に出資 健康や栄養を軸とした「食体験ジャーニー」を提供

味の素は、食と健康に関する事業領域でデジタルサービス事業を展開するスタートアップ企業である(株)おいしい健康に出資しました。これにより、おいしい健康社が持つ食と健康のデジタル領域での知見と、同社グループの食やヘルスケア領域での資産の相互活用を通じて、新たなおいしさや楽しさ、食と健康・栄養を軸としてパーソナライズされた「食体験ジャーニー」の生活者への提供を進めていくとしています。

2016年にクックパッド(株)から独立したおいしい健康社は、食習慣に悩みを持つ健常者や生活習慣病患者等を対象に、エビデンスに基づく管理栄養士監修のレシピ開発や、AIによるレシピ・献立提案アプリ等のデジタルサービスを提供しています。

カゴメ、プラントベースフードのスタートアップ企業 (株)TWOに資本参加

カゴメは、プラントベースフード事業を展開する(株)TWOと投資契約を締結し、資本参加しました。これにより、今後両社で展開するプラントベースフード事業の戦略遂行を加速させ、シナジーの創出を目指します。同社はプラントベースフードを新たな成長領域ととらえており、2022年にはプラントベースフードの調味食品を計10品目展開する計画です。

同社は、TWO社が展開するプラントベースフードブランド「2foods」の“Yummy But So Healthy”を大切にすることをコンセプトに魅力を感じ、TWO社のメニュー開発力、情報発信力と、同社の商品開発力、営業力、販売網といったリソースのシナジーにより、同市場で新たな需要を創造できると考え、2021年4月に業務提携契約を締結。同年12月に投資契約を締結しました。

ロート製薬、フードロス削減などの実現に向け 石垣市、(株)クラダシと連携協定を締結

ロート製薬は、沖縄県石垣市と、社会貢献型ショッピングサイトを運営する(株)クラダシの3者で「石垣市におけるSDGsの推進に係る食品ロス削減及び特産品のPRに向けた連携協定」を締結しました。

同社は、健康を軸にさまざまなアプローチで事業を展開するなかで、食事業において、2013年にアグリファーム事業部を立ち上げ、グループ会社である農業生産法人・(有)やえやまファーム（石垣市）で畜産・農産、加工販売を通して循環型農業、六次産業化に取り組んでいます。

今後は、3者が連携してそれぞれが持つリソースを最大限に活かし、さまざまな取り組みを行いながら、石垣島の食が多くの人に届けられるような仕組みを構築していくとしています。

協和、2022年1月よりライブコマース 「fracora LIVEショッピング」を開始

協和は、化粧品・インナービューティーサプリメントを展開するエイジングケアブランド「フラコラ」のライブコマース「fracora LIVEショッピング」を2022年1月より開始しました。

「fracora LIVEショッピング」では、「フラコラ」スタッフが視聴者とコミュニケーションを取りながら、商品の魅力や開発の裏側など詳しく伝える動画を配信していくということです。また、動画内では、商品についての情報に加え、健康寿命延伸のために大切な食事・運動・睡眠についても語られるということです。

加工食品

1/22

ニチレイ、米由来の新しい主食「ごはんのみらい」を発売

ニチレイは、栄養素をパーソナライズできる新しい主食「ごはんのみらい」を1月22日に発売しました。

同商品は、独自技術によって米を粉末状にして、米由来の食物繊維レジスタントスターチを加えて開発。通常の白米1食分と比較して、糖質を50%カットし、食物繊維を約10倍含有しています。

さらに、同商品は日本人の馴染みのある米の形をしているものの、お湯を注ぐだけで食べられるので、炊飯の手間もかからない新しい主食となります。

2/2

エバラ食品工業、業務用新ブランド「惣菜応援団」シリーズ展開

エバラ食品工業は、2月2日に業務用製品の新ブランドとして「惣菜応援団」シリーズを立ち上げ、「同 焼肉のたれ」「同 塩だれ」「同 やきとりのたれ」を発売しました。

同シリーズは、中食向けの惣菜専用調味料であり、500mlの容器を採用することで、トライアルしやすい容量と価格を実現しています。

同社では、テイクアウトの弁当や惣菜の需要は今後も堅調に推移していくと予測しており、同シリーズの展開を強化していく方針です。

飲料

1/17

明治、常温長期保存が可能「明治 特選北海道牛乳」を発売

明治は、北海道産牛乳を100%使用した常温長期保存が可能な「明治 特選北海道牛乳」を1月17日から発売しました。

昨今牛乳・乳製品の消費量が低調に推移しており、賞味期限切れによる牛乳の廃棄が問題となっていますが、同商品は常温で91日の長期保存が可能な商品であるため、まとめ買いによる保存にも便利で、食品ロス削減に貢献することができます。

なお、同社の従来の常温タイプの牛乳は賞味期限が60日でしたが、同商品の開発にあたり、品質試験で賞味期限を1ヶ月伸ばすことに成功しました。

1/20

白鶴酒造、植物性乳酸菌入り甘酒を発売

白鶴酒造は、植物性乳酸菌入りでヨーグルト風味の飲みやすい甘酒「白鶴 植物由来の乳酸菌入り あまさけ」を1月20日から発売しました。

同商品は、米麴を使用した甘酒に、Noster(株)が保有するエンドウ豆由来の乳酸菌「ロイコ菌M048株」を配合することで、健康をサポートする甘酒として展開していきます。

健康食品

1/11

えがお、1日2粒で1兆個の乳酸菌「えがお 1兆個の乳酸菌」新発売

えがおは、1日2粒で1兆個の乳酸菌が摂れるサプリメント「えがお 1兆個の乳酸菌」を1月11日から発売しました。

同商品は、一般的な乳酸菌よりサイズが小さく、働きがアップした乳酸菌EC-12を1兆個配合しているほか、フラクトオリゴ糖と不溶性食物繊維も配合しています。

腸内環境を整える乳酸菌、フラクトオリゴ糖、不溶性食物繊維の3つの機能成分で体内環境を健やかにし、健康な毎日をサポートすることを訴求しています。

1/11

再春館製薬所、新ブランド「Lashiku」一般販売開始

再春館製薬所は、“生体リズム”をサポートする製品・サービスを提供する新ブランド「Lashiku」を立ち上げ、同ブランドの新製品第一弾として整腸機能に着目した「同 腸活」とコラーゲンに着目した「同 からだ・しなやか」を1月11日から一般販売を開始しました。

「同 腸活」はビフィズス菌BB536を機能性関与成分とした機能性表示食品、「同 からだ・しなやか」はV型コラーゲン配合のほか、12種類のビタミンやカルシウム、鉄などを含有した栄養機能食品となります。

1/13

森永製菓、機能性表示食品「ひざ軽コラーゲン」発売

森永製菓は、サケ鼻軟骨由来非変性Ⅱ型コラーゲンとプロテオグリカンに関与成分とした機能性表示食品「ひざ軽コラーゲン」を1月13日から自社通販サイトにて発売しました。

同商品に配合している関与成分には、日常生活におけるひざの動き（ひざの曲げ伸ばし、立つ、歩く、座る、階段の昇り降りなど）の改善をサポートする機能があります。

なお、同社では同商品の開発にあたり、コラーゲンの独特の風味を抑えるため、独自のマスキング技術を駆使して、食事の味を損ねない品質を実現しました。

2/1

富士薬品、サプリメントブランドから乳酸菌配合「ラクトノエル」発売

富士薬品は、サプリメントブランド「Laforth」のベースシリーズとして、乳酸菌サプリメントの「ラクトノエル」を2月1日に発売しました。

同商品は、「乳酸菌を毎日手軽に」をコンセプトに開発された、栄養補助食品となり、ビフィズス菌KMH001とクリスパタス菌KT-11の2種類の乳酸菌を配合しています。

さらに、同商品は納豆のネバネバの主成分であるポリグルタミン酸などを配合しており、健康的な毎日をサポートするサプリメントとして、展開しています。

味の素、北京2022オリンピック「TEAM JAPAN」を“食”と“アミノ酸”を通じてサポート

味の素は、北京2022冬季オリンピックに日本代表として参加する「TEAM JAPAN」に同社製品を提供し、“食”と“アミノ酸”を通じて栄養をサポートします。

北京2022大会では、「アミノバイタル」をはじめとしたアミノ酸ベースの顆粒製品を提供し、選手のトータルコンディショニングを支援します。また、JOCが設置する、競技直前の選手のためのコンディショニング維持を目的とした「G-Road Station」に協力し、「クノール」ブランドのスープや「For ATHLETE」ギョーザなど、選手のエネルギー補給につながる和軽食を提供。「戦略的栄養補給」、「リラックスできる空間」を通じて「TEAM JAPAN」のこころからだを元気にするとしています。

明治、岡山県倉敷市と「地方創生に係る包括連携協定」を締結

明治は1月12日、岡山県倉敷市との間で「地方創生に係る包括連携協定」を締結しました。今回の協定は、倉敷市が策定する「倉敷みらい創生戦略」、「高梁川流域圏成長戦略ビジョン」の遂行と、地域の活性化・発展へ協力することが目的となっています。

倉敷市には粉末プロテイン「ザバス」などの生産拠点を設けており、最近では、同氏へのふるさと納税の返礼品として「ザバス」ブランドを提供するなど、同社にとって関係が深い都市となっています。

同社は、牛乳、チョコレート、プロテインなどさまざまな食品本来の栄養に関する知見を活用した取り組みを進め、市民の健康づくりやスポーツ振興などで地方活性化への貢献を目指すとしています。

伊藤園、日本相撲協会と「オフィシャルトップパートナー」条約を締結

伊藤園は、2022年1月に公益財団法人日本相撲協会と「オフィシャルトップパートナー」条約を締結しました。

相撲とお茶は日本で千年以上の歴史があり、高い格式と伝統を備える国技の相撲と伝統飲料のお茶は、日本が世界に誇るべき文化という共通項を持っています。

同社は今後、年6回の本場所において会場内にさまざまな広告を掲載するほか、館内に「お〜いお茶」専用ブースの設置、イベント・キャンペーンの開催、同社の製品による力士の健康サポートなどに取り組むことで、相撲とお茶の魅力を世界中に発信し、日本文化の発展と認知拡大に貢献したいと考えています。

日清製粉ウェルナ、「TOKYO SKYTREE TOWN ICE SKATING PARK」に協賛

日清製粉グループは、2021年12月1日～3月6日までの期間、東京スカイツリータウンにオープンするアイススケートリンク「TOKYO SKYTREE TOWN ICE SKATING PARK」に協賛しています。

1月1日からは、同社グループの日清製粉ウェルナが協賛しています。

同社は、同日付で日清フーズから社名を変更しており、社名変更後初のイベントとなります。

新社名やロゴを掲載した屋外広告をスケートリンクや東京スカイツリータウン周辺各所に掲出することで、新社名の周知を図る考えです。

JR大宮支社、プロテイン飲料の自動販売機を期間限定で設置

JR東日本大宮支社と(株)JR東日本クロスステーションは、健康志向やお持ち帰り需要の高まりに応じて、プロテインなどを購入可能な自動販売機をJR大宮駅の改札外コンコースに期間限定で設置しています。

自動販売機には、プロテインなどがその場で飲める温・冷対応のカップ内調理機能を搭載しており、DNSのプロテインの中でも最も人気が高い「プロテインホエイ100（プレミアムチョコレートなど）」や「R4（レモンライム風味）」を100円で提供しています。

JR大宮支社は、新型コロナウイルスの感染拡大の長期化により、「非接触」「非対面」の販売方法のニーズが高まっているとみて、需要の実態を把握したいと考えています。

ベースフード、APEXのeスポーツ大会に協賛

完全栄養食のパイオニアであるベースフードは、Apex Legendsの世界最高峰を決める「Apex Legends Global Series: Pro League- APAC North」に協賛しています。

長時間プレイする日々が続くなか、精神力も体力も消耗するeスポーツプレイヤー・関係者にとって、かんたん且つ効率的に必要な栄養素を摂ることは必要不可欠であることから、1食で1日に必要な栄養素の1/3がすべてとれる完全食「BASE FOOD」シリーズで、eスポーツを楽しむ人々を健康面から支え、eスポーツ業界全体の発展を応援するとしています。

ユーグレナ、「からだにユーグレナ サウナプロジェクト」を推進

ユーグレナは、心身共に「サステナブル」な健康を目指し、より身近で継続的なサウナの習慣を広げるため、「からだにユーグレナ サウナプロジェクト」を推進しています。第一弾では、サウナ体験への提言である「サステナブルととのうのスヌメ」や動画の公開を実施しました。

第二弾では、無理をしない気軽なサウナの入り方を提案する「サステナブルととのう」を実際に体験してもらうサンプリング企画を実施。自由が丘の銭湯「みどり湯」で「サステナブルととのうのスヌメ」特製ポスターを掲示し、先着1,000名に「からだにユーグレナ フルーツグリーンオレ」を無料配布します。

ニュートリー、栄養療法の新コンテンツを隔週で公開

栄養療法食品を展開するニュートリーは、YouTubeチャンネル開設から10周年を迎えるのを記念して、1月17日より「食べられない」に悩むすべての方の「食べたい思い」を叶えるコンテンツを隔週で公開します。

今後は、悩み別の具体的な解決策や対処法、栄養療法に関するハウツー、スタディ、エピソードなどを取り上げ、嚙下、栄養素補給、流動食などの幅広い食事の悩みに答える動画を配信します。

同社は、年代を問わず広く視聴されるYouTubeのプラットフォームを通じて、一人でも多くの方が栄養療法と接点を持ち、日々の生活でお役立ていただけるよう、努めていく方針です。

今月のヒット商品

最近のHealth & Food分野においてヒットしている商品を、ひとつご紹介します。<藤>

包み（六甲バター）

今回取り上げるヒット商品は、六甲バターが2021年9月10日に発売したチーズボール「包み」です。同商品は、発売から3か月で累計出荷個数が100万個（計画比180%）を突破。「なんともいえない食感」がSNSで話題となり、好調な売れ行きをみせています。

商品は「包み カマンベール風味」「同 ゴルゴンゾーラ風味」を展開。濃厚で滑らかなチーズソースをもちもちのチーズ生地で包み込んでおり、噛むと中から一気にチーズソースがあふれ出します。賞味期限は120日間と、形状の割に長い点も特徴です。

同商品はチーズの喫食シーン拡大を図るべく、「チーズの大福」を目指して開発がスタートしました。異なる食感のチーズ生地を包餡するには高度な技術を要し、7年の歳月をかけて商品化。従来の市場にはない商品として、新たなチーズカテゴリーの創出に貢献しています。

また、同社は「なんともいえない食感」を言語化するため、分析機器を用いた独自の調査を実施。「凝集性」「一定の歪みにおける荷重」「付着性」の3つの観点から検証を行い、「パンケーキ以上ゆで卵未満のまとまりやすさで、ぶどうより柔らかくシュウクリームより硬いが、そんなにくっつく感じはない食感」と判明しました。

今後は、認知度向上のためのプロモーション活動などを実施する考えです。具体的には、若年層に向けてはTwitterのリツイート機能やYouTubeの動画配信などのデジタルコミュニケーションを活用し、引き続き反響が得られるような施策を進めるとしています。



(画像 : <https://www.qbb.co.jp/products/cheese/others>)

今月の気になるデータ

自社・他社を問わず、最近の気になるデータやマーケティングに使えるデータをご紹介します。<堀>

22.9%

今回も弊社が2021年12月に発刊した「2021年 ダイエットの意識・実態調査（※）」より、気になるデータをご紹介します。

（※調査対象者：ダイエットのために食事面で気を付けていることや取り組んでいることがある20～60代の男女1,030人）

前回は、ダイエットへの考え方やダイエットに対する意識や取り組み、ダイエット対策商品の利用率などをご紹介させていただきました。今回はダイエットの情報源や、関心のあるワードや魅力的なヘルスクレームについてのデータをご紹介します。

まず、ダイエットの情報源としてはどのようなものが挙げられるのを見たいと思います。普段利用しているダイエットの情報源は、全体では「テレビ」が50.5%で最も多く、次いで「ネットの記事・まとめサイト」が43.8%、「YouTube」が39.2%、「Instagram」が29.9%、「本・書籍」が22.3%と続いています。

また、信頼できると思うダイエットの情報源については、全体では「YouTube」が**22.9%**で最も多く、以下「テレビ」が22.7%、「ネットの記事・まとめサイト」が14.4%、「Instagram」が12.4%、「本・書籍」が12.1%と続いています。「YouTube」と答えた人は2割強もいることから、同コンテンツの影響力の強さが窺えます。

では、知っている・関心のあるダイエットの関連ワードはどのようなものが挙げられるのでしょうか。まず、知っているダイエットの関連ワードについては、全体では「糖質制限」が86.0%で最も多く、次いで「プロテイン」が82.8%、「デトックス」と「酵素」が各74.8%、「腸活」が74.0%と続いています。

また、関心のあるダイエットの関連ワードは、全体では「糖質制限」が50.1%で最も多く、次いで「腸活」が45.2%、「プロテイン」が37.6%、「インナーマッスル」が36.7%、「デトックス」が32.5%と続いています。

上記の結果を見てみると、最近では“糖質”を気にされる方が多くいる傾向にあります。今後も引き続き、“糖質”関連商品の需要は拡大していくと考えられます。また、“糖質”についてのデータに関しましては、弊社で2021年4月に発刊させていただきました「2021年 糖質に関する意識・実態調査」のレポートで、細かく見ていただけますので、「ダイエット」のレポートだけでなく、是非こちらのレポートもご活用いただけますと幸いです。



今月の注目商品

最近発売された商品の中から注目商品を、
ひとつご紹介いたします。<藤>

サントリー 快眠セサミン (サントリーウエルネス)

今月の注目商品は、サントリーウエルネスが2022年1月19日に発売した「サントリー 快眠セサミン」をご紹介します。

同商品は睡眠対策の機能性表示食品です。機能性関与成分として、抗酸化作用で寝覚め、寝付き、眠りの深さを改善するセサミンと、副交感神経に作用することで起床時の疲労感を軽減するテアニンを配合しています。

現在発売中の「サントリー セサミン」シリーズで唯一の機能性表示食品となります。同シリーズと同様にゴマ型のソフトカプセルを採用。パッケージは、紺色と黄色を基調に、夜と日中をモチーフにしたイラストを配し、睡眠の質が向上することで起床後の調子が良くなることをイメージしたデザインに仕上がっています。ターゲットは、ストレスが増える40代以降に設定。これまでの同社の顧客より、若い層の取り込みにもつながりたい意向です。

発売前の2021年12月には、関西・東海エリアでTVCMを投下。加えて、キャンペーン応募者を対象に、対話アプリ「LINE」で睡眠タイプに合わせた専門家のアドバイスが無料で受けられるサービスも展開しています。同社は商品やCM、キャンペーンを通じて知識を広め、ネガティブになりがちな睡眠対策のイメージを変えていきたいとしています。

睡眠に対して悩みや不満を持つ人は多く、市販薬や寝具などさまざまな睡眠サポート商品が販売されています。中でも機能性表示食品は、2021年10月にファンケルが「睡眠&疲労感ケア」を発売するなど参入企業の増加により競争が激化しています。

同社は、2026年までに売上40億円を目指す意向を示しており、今後の動向に注目したいと思います。



(画像 : <https://www.suntory.co.jp/news/article/14044.html>)

今月の作ってみました

弊社取締役副社長が食品メーカーの商品を使って、
実際に作った料理の数々をご紹介します。<佐>

フジッコのおまめさんシリーズ (フジッコ)

炒り豆に花が咲く

今年は久しぶりに節分の炒り豆を購入。

いつからか、我が家では恵方巻を食べるのが恒例となり、豆まきをしなくなった。

子供の頃は豆まきをした後、炒り豆を歳の数だけしか食べられないことに少々不満だった。

しかし、今では歳の数だけ食べるのはキツイ！

と思っていたら…

数えて91歳の母が鬼の面をつけて炒り豆を数えている、、、「足りな〜い」(笑)

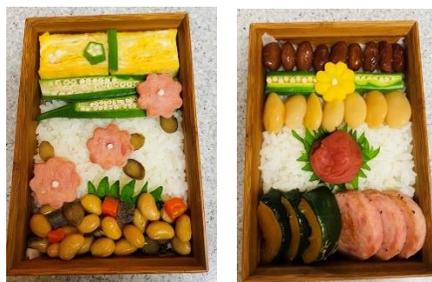
「炒り豆に花が咲く」かもかも…

我が家の鬼は福の神？

そこで、2月のお弁当は節分の炒り豆に困って

フジッコのお豆さんを使用。

毎日健康。まめに暮らそう！



機能性表示食品の惣菜・生鮮食品

機能性表示食品制度がスタートしてまもなく8年目に突入しようとしています。具体的なヘルスクレームを訴求できる点やトクホよりも低いコストで申請・承認を得られる点などから機能性表示食品に対する注目は高まっており、受理数は年々増えています。こうした中で、近年はいわゆる健康食品だけでなく惣菜や生鮮食品でも健康機能を訴求したものが増えています。今回は、こうした機能性表示食品の惣菜・生鮮食品についてまとめてみました。

生鮮食品については、三ヶ日町農業協同組合の「三ヶ日みかん」（A79）を皮切りに年々増加傾向にあり、届出数（撤回含む）だけみると初年度ではわずか3件だったのが2019年度には50件を突破、現在では130件以上の生鮮食品が機能性表示食品として届出受理されています。一方、惣菜についてはパウチタイプのものが複数みられますが、パックのものとしてはデア食品が2020年9月に発売した「カラダ思いメニュー ポテトサラダ」と第二弾の「同蒸し鶏入りごぼうサラダ」程度となっています。このうち「同ポテトサラダ」は好調に推移し、2021年9月までの1年間で約53万食の販売実績を記録。同社では今後も「カラダ思いメニュー」ブランドとしての強化を図っていく考えです。

コロナ禍以降は消費者の間でも健康への意識が高まっており、普段の食生活から健康を意識する人も増えています。一旦は終息をみせたもののオミクロン株の流行により再び感染が拡大するなど今後も予断を許さない状況ですが、こうした状況だからこそ健康な食生活の提案が求められているのではないのでしょうか。

【主な機能性表示食品の惣菜・生鮮食品】

届出番号	メーカー	カテゴリー	ブランド/製品名	ヘルスクレーム	特徴
A79	三ヶ日町農業協同組合	生鮮食品	三ヶ日みかん	骨代謝の補助	生鮮食品として初めての機能性表示食品。温州ミカンの「早生」「青島」のβ-クリプトキサンチンの含有量を等級ごとに調査し、糖度との相関性を研究論文として発表。
B66	フジッコ	惣菜 (パウチ)	ビーンズキッチン 蒸し黒豆	骨の成分維持	消費者向け大豆加工製品としては初めての機能性表示食品。2015年12月よりパッケージにヘルスクレームを表示しリニューアルを行った。
D535	フジッコ	惣菜 (パウチ)	ビーンズキッチン 蒸し大豆	骨の成分維持	消費者向け大豆加工製品としては初めての機能性表示食品。2015年12月よりパッケージにヘルスクレームを表示しリニューアルを行った。
E468	サラダボウル	生鮮食品	サラダボウルのごちそうトマト (ファイトリッチ)	血中LDLコレステロール低下	リコピンの機能性表示では生鮮食品で国内初となる機能性トマトで、首都圏のスーパー等で販売。タキイ種苗が開発した『ファイトリッチ』シリーズのトマト品種。
F311	高知県農業協同組合	生鮮食品	高知なす	血圧改善	生鮮ナスとして初めて機能性表示が認められたナスで、関与成分としてコリンエステル（アセチルコリン）を約1～1.5mg程度含有。
F847	ベイシア	生鮮食品	生鮮プレミアム 活めかんぱち	中性脂肪低減	日本で初となる冷凍しない鮮魚のままの機能性表示食品カンパチ。マルハニチロよりデータ提供を受け、関与成分としてDHAを310mg、EPAを120mg含有している。
G200	デア食品	惣菜 (パック)	カラダ思いメニュー ポテトサラダ	血圧改善	親会社であるキューピーと共同開発した、惣菜業界で初の機能性表示食品ポテトサラダで首都圏限定での販売。社内公募制度で選出されたビジネスプランを基に開発したもので、GABAを1食あたり12.3mg配合している。
G233	デア食品	惣菜 (パック)	カラダ思いメニュー 蒸し鶏入りごぼうサラダ	中性脂肪低減	ポテトサラダに次ぐシリーズ第二弾としてキューピーと開発。ポテトサラダと同じく首都圏限定での販売。イヌリンを1食あたり8.1g含有し、中性脂肪が気になる人におすすめの商品となっている。
G311	イオントップバリュ	生鮮食品	沖縄県産もずく（三杯酢）	内臓脂肪低減	関与成分としてローズヒップ由来ティロロサイドを0.1mg含有。
G503	Ealo	生鮮食品	BH Tomato	疲労感緩和 睡眠の質向上 肌の弾力維持	生鮮トマトの機能性表示食品として初めて「睡眠の質向上」「肌の弾力性維持」を取得。JFEエンジニアリングが設計・建設した太陽光型植物工場にて栽培されており、栽培技術および栽培管理により一定の品質基準を確保している。

新刊レポートのご案内

【市場調査レポート】
販売価格 108,900円（税込）
製本+PDFセット版 119,900円（税込）

12/24

2022年 代替たんぱく質のR&D動向調査

大豆ミートから培養肉、昆虫食まで
代替たんぱく質の最新開発動向を網羅！

欧米では健康や環境などの社会問題を解決する素材として注目を集めている代替たんぱく質。日本でもサステナブル戦略の一環として参入する企業が増加し、海外に遅れをとらないためにコンソーシアムやオープンイノベーションを通じた協働戦略が加速している。本レポートは日本における代替たんぱく質のメイプレイヤーの研究開発動向をまとめ、業界や各社の今後の展開について分析している。

【主な調査項目】

- 市場概況
- 各社の研究開発体制
- 近年の研究開発動向
- 代替たんぱくに関する特許分析
- 今後の方向性

【調査対象企業】

- 味の素
- 伊藤ハム米久ホールディングス
- 大塚ホールディングス
- カゴメ
- グリラス
- DAIZ
- FUTURENAUT …etc

【市場調査レポート】
販売価格 108,900円（税込）
製本+PDFセット版 119,900円（税込）



<関連レポート>

21/5

2021年 欧米のプラントベースフード市場

今後の発刊予定

今後の発刊予定をご案内します。
気になる資料がございましたらお気軽にお問い合わせください！
※発刊日は、予告なく変更される場合がございます。予めご了承ください。

22年2月

2022年 惣菜メーカーの事業戦略調査



コロナ禍で変化する中食業界で
各社の事業方針を徹底調査

【市場調査レポート】
販売価格 | 108,900円（税込）

22年2月

2022年 DHA・EPAの摂取実態と商品ニーズ



人気素材の摂取目的と
ユーザーの性質をクローズアップ

【消費者調査レポート】
予約販売価格 | 429,000円（税込）

編集後記

今月もニュースレターをご覧いただき、ありがとうございました。
昨今は新型コロナウイルス感染症の影響が再燃し、弊社所在の大阪府でもオミクロン株の感染者数が日に日に増加しております。行政も対応に追われていますが、ワクチン接種が普及したことでこうした感染抑え込みに対する意識も一時的に薄れているようです。読者の皆様におきましても、体調にはくれぐれもお気をつけください。

さて、2月というと節分やバレンタインデーなど食品に関連した行事が続きます。一般的には閑散期とされる時期ではありますが、だからこそ業界の動きにアンテナを張り、販促活動などで面白い要素が無いか探してみるのもよいかもしれません。
2020年から2021年は、コロナ禍で閉塞する生活に対する気分転換としてお菓子作りなどホームメイドに着目したメーカーが増加しました。今年は何か面白い流行が見られるでしょうか？
<佐>

TPCマーケティングリサーチ主催 オンラインセミナー

tpc^{MR}

開催決定！

第一回

プラントベースフード市場の実態と展望

この度、弊社ではオンラインセミナーを開催いたします。今回のセミナーは(株)林原、亀田製菓(株)、不二製油(株)の3社に協賛いただき、4社合同での開催となります。無料で閲覧いただけるオンラインセミナーとなりますので、ご興味・ご関心がおありでしたら、是非ともお申込みいただけますと幸いです。

お申込み方法、セミナーの詳細については、後日弊社からお知らせいたします。ご質問やご不明な点等ございましたら、お気軽に弊社までご連絡いただければと思います。

概要

■ TPCマーケティングリサーチ主催 ウェビナー（閲覧無料）

■ 開催日時 2022年3月17日（木） 14時～16時（オンラインセミナー）

弊社ならびに協賛企業様のセミナータイトル

■ TPCマーケティングリサーチ株式会社
プラントベースフード市場の実態と展望

◀協賛企業様▶

■ 株式会社林原
差をつける！「植物性タンパク質×林原製品」で商品価値をグレードアップ！！

■ 亀田製菓株式会社
“あられ・おせんべいの製菓業”から
“Better For You～グローバルフードカンパニーへ”亀田製菓の挑戦

■ 不二製油株式会社
『植物性食』新時代への挑戦 Plant-Based Food Solutions

※上記テーマは（仮）となり、変更となる場合もございます。
※プログラム順や詳細の内容については後日発表いたします。